

令和7年度 小・中学校における環境教育の取組み

教科名 総合的な学習の時間（第3学年）

テーマ【環境を良くするプロジェクト】

枚方市立枚方中学校

《学習のねらい》

- 環境課題について自分たちで何ができるかを考えて実践する。以下生徒が考えた学習のねらい。
 - 命の大切さを学ぶ・学校環境をよりよくするために協力する・周囲の環境について考える。
 - 自然の循環システムについての学習で、持続可能な未来につなげる。

《学習の流れ》

実施時期 令和7年4月 ～ 12月

- ①準備 課題解決に向けた環境整備、外部の力を積極的に活用していく。
テーマ決め、メンバー決め、取組みの目標確認、外部連携
- ②実践 専門家に話を伺う。校外の現地で実際に採取。試作品プロトタイプを作成。体験的に検証や実証を行う。
- ③総括 プレゼンテーション（中間発表・最終発表）を行い、意見や感想を取組みのまとめに活用する。



《指導のポイント》

- 生徒が環境問題を自分事として捉え、主体的に取り組んでいる。
- 生徒が体験的な学びを通して、学びを深める。
- 生徒が必要な支援を求められることができる。



《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

枚方高等学校—生物飼育部（生物の飼育方法や生体のレクチャー）→生物飼育講習会
 枚方市役所—危機管理対策推進室（活動に必要な物品の貸与）→ライフジャケット
 枚方中学校—校務員（花だんの手入れ、生物捕獲用具作成）→のこぎり、腐葉土、スコップ等
 枚方市の平和記念式典で使用した竹の灯籠を再利用→花だんのプランターやオブジェ

《成果》

3年生修学ゼミ報告会を令和7年12月1日に実施。自然環境を学校で再現し、実際に見て触れることができる成果物は見学者に好評であった。生徒からは、「協力して達成したことがよかった。枚方高校など外部の人とつながれた。自分たちで魚を捕りに行ったことで魚のすばやさがあった。マスコットとなる魚の名前を多くの人が考えてくれて嬉しい。」などの感想があった。環境学習を協働的な学びとして進めたことで、自分たちの取り巻く環境についての関心が高まり、課題解決について自分たちでできることに気づいていく様子が伺えた。

